



表彰された市内小中学校の児童生徒

模範の児童・生徒を表彰

総優賞表彰式

市内の児童生徒を表彰する総優賞の表彰式が2月3日、総合福祉センターで行われました。

表彰されたのは、スポーツで優秀な成績を残したり、委員会や学校行事、ボランティア活動に熱心に取り組んだりして、他の模範となっている市内小中学校の19人です。

式では、受賞者一人ひとりの受賞理由が紹介され、教育長から賞状と記念品が手渡されました。

学生の政策アイデアを表彰

インターンシップ優秀提言表彰式

8月から11月までの間、市役所で就業体験をしたインターンシップ生から、市への政策提言が提出されました。その中から優れた10点選ばれ、1月から2月にかけて表彰式が行われました。

表彰されたのは、小森海世さん（IPU環太平洋大学）、徳永綾乃さん、佐々木夏奈さん、小林紗子さん、河原愛美さん（以上、くらしき作陽大学）、秋山真輝さん、大坪嘉晴さん、柳生桃さん（以上、倉敷芸術科学大学）、仁子将大さん、陶山朋佳さん（以上、岡山県立大学）。

提言内容は、食事バランスガイドの作成や大学と連携した若手防災士の育成、ひきこもり支援のためのパン教室開催など。市では、実現可能な提言を実行していきます。



①小森さん ②徳永さん、佐々木さん、小林さん、河原さん ③秋山さん、大坪さん、柳生さん ④仁子さん、陶山さん【写真左から】



ミニフォト

カレーで小学校を応援



目録を受け取る池田小学校長

2月3日、総合福祉センターでそうじゃ小学校カレー応援金贈呈式が行われました。市内の小学校や地域の関係者ら約40人が出席。昨年の売り上げ個数3万2315個に対して、1個当たり20円の応援金を各校園へ贈呈しました。

講座の成果発表会



観客と一緒にヨガ

2月2日に市民会館で働く婦人の家まつりが開催され、約800人が来場しました。ステージでは大正琴や3B体操などの講座生が日ごろの練習の成果を披露。ロビーでは絵手紙やボトルフラワーなどの展示が行われました。

障がい者雇用を推進



熱心に話を聞く求職者

障がい者の自立・就労支援を目的に、障がい者ワークわくそうじゃ就職面接会が1月29日、総合福祉センターで開かれました。17の企業・事業所が参加。求職者との個別面接や就職相談が行われました。

園庭が完成

いじりの認定こども園

園舎の新築工事に続き整備していた、いじりの認定こども園の園庭が完成し、1月14日にオープンイベントが行われました。

イベントでは河原浩子園長が、「広い園庭を整備していただいております。遊具もみんなで大切に使います」とあいさつ。とんど焼きとマラソンが行われ、園児らは園庭の完成を喜びました。

園庭は、隣接していた旧総社保育所園舎の解体跡地に整備。面積は約1200㎡、事業費は約6300万円です。



完成した園庭でマラソンをする園児ら

赤木さん100歳おめでとう



家族に祝福される赤木さん

赤木一枝さん（中尾）が2月8日に満100歳の誕生日を迎えられ、10日に市から記念品が贈られました。和裁が得意で、よく繕い物をしてきた赤木さん。長寿の秘訣は、くよくよしないことだそうです。

書道の魅力を伝える



高木さんから書を教わる

総社市出身の書家・高木聖雨（本名：茂行）さんが2月14日、母校の常盤小学校で書道の授業を行いました。2年生の児童は、高木さんに筆の持ち方や運び方を教わりながら、「土」の字を練習。6年生は揮毫を見学しました。

寒さを吹き飛ばす熱演



総社南高校ダンス部のステージ

2月9日、ウインターフェスティバルがきよね夢てらすで開催され、ダンスチームなどが熱いパフォーマンスでステージを盛り上げました。子どもの外遊び企画や屋台もあり、来場者は冬の祭典を楽しんでいました。

自分らしく生きられる社会へ



健康の大切さを語る久田さん

「男女がともに輝くいきいき社会をめざして」をテーマに、総社市婦人大会が1月25日、市民会館で開催されました。地域で活躍する女性ら約950人が参加。元NHK「きょうの健康」キャスターの久田直子さんが講演しました。

文化財と歴史を守る



五重塔へ向けて放水

1月26日の文化財防火デーを前に22日、消防訓練が備中国分寺で行われました。五重塔北西の山林から出火したと想定。参加した消防署員や関係者ら約40人が連携し、消火活動の手順を確認していました。

給食のはたらきを知ろう



釣った魚の種類は何かな

1月24日から30日までの学校給食週間に先立ち、18日に地食べ学校給食センターえがおで学校給食を知っ展11を開催。来場者は豆つかみや魚釣りゲーム、パネル展示の見学などを行い、給食や食育への理解を深めていました。